

専門試験-資格免許職-保育士

〔No. 1〕 高齢者福祉に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 老人福祉法は、要介護状態又は要支援状態にある介護保険の被保険者に対して必要な保険給付を行うと規定している。
2. 介護保険制度では、在宅の要介護者には、居宅介護支援事業者の介護支援専門員（ケアマネジャー）が介護サービス計画（ケアプラン）を作成する。
3. 介護給付は、施設サービスと居宅サービスであり、通所介護は含まない。
4. 地域包括支援センターは、寝たきりの状態にある高齢者などに対して看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練などを行う施設である。
5. 介護保険で「要介護」と認定された者には、介護予防についてのケアマネジメントが実施され「予防給付」が支給される。

〔No. 2〕日本における子どもを取り巻く状況に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 2010（平成22）年に策定された子ども・子育てビジョンにおいて、社会全体で子育てを支えていくことよりも、各家庭が中心となって子育てを担うことが基本的な考え方として示された。
2. 2012（平成24）年に子ども・子育て関連3法が成立し、保育所、幼稚園、認定こども園の所管が統一された。
3. 人口動態統計によれば、出生数が人口動態調査開始以降初めて80万人を割り込んだのは、2022（令和4）年であった。
4. 国民生活基礎調査の結果を見ると、2021（令和3）年の「子どもの貧困率」（17歳以下）は約5%となっている。
5. 保育所等関連状況取りまとめ（令和5年4月1日）によると、待機児童数は現在も微増傾向にあり、2023（令和5）年の待機児童数は全国で約1万人となっている。

〔No. 3〕 1型糖尿病についての記述として妥当なのはどれか。

- ① 幼児期に発症する糖尿病のほとんどを占める。
2. オキシトシン不足により血糖値が上がる疾病である。
3. 日光を長時間浴びることで血糖値が上がるため、長時間の戸外活動は避ける。
4. 1型糖尿病の幼児には食事や運動の制限が最も重要である。
5. 食器類の共有で感染するため、食事の際の感染予防対策が必要である。